

ボツワナ共和国月報(2022年6月)

主な出来事

【COVID-19】

- 感染者数(第5波の到来)

【内政】

- カーマ前大統領の動向にかかる関連報道
- 閣議リトリート(14日～17日)

【外政】

- マシシ大統領、26日～28日にかけて欧州を外遊
- マシシ大統領、第7回SACU首脳会合に出席

【経済】

- 2021/2022 年第4四半期情報通信及び交通インフラ統計
- 2021年度収支決算は黒字見込み、ボツワナの今年度経済成長率は4.3%と推定
- 5月の年間消費者物価指数上昇率は11.9%-2009年1月以来の高水準
- ボツワナ銀行によるデジタル通貨の導入
- オカバンゴ川橋の開通式実施

【COVID-19】

○感染者数

(1)オミクロン株流行により第4波が到来し、客年12月中旬より感染者数が急増したが、3月に入り収束した。

(2)24日、ボツワナ保健省は、5月よりコロナ感染者が増加傾向にあり、BA. 4及びBA. 5のオミクロン株による第5波が到来した旨発表した。

【内政】

○カーマ前大統領の動向にかかる関連報道

6日、違法な武器の所有等で起訴されているカーマ前大統領他に対する初公判が開かれたが、同前大統領は逃亡先の南アフリカに留まり、出廷しなかった。本公判を担当したオラトツェ検事は、8月30日までに引渡しを求めるプロセスに取りかかるだろう旨述べた。次回公判は8月30日を予定。なお、ボツワナ政府は、カーマ前大統領は6月26日から7月2日まで英国に滞在し、その後イタリアに6日まで滞在する旨発表した。

○閣議リトリート(14日～17日)

14日より4日間にわたって、マウンにて大統領以下全閣僚等を集めたリトリートが開かれた。マシシ大統領は、「ビジョン2036」を達成するために発表された5つの柱からなる「リセット・アジェンダ」(“Reset Agenda”)の達成のためにそれぞれが代表する

組織の先頭にたって励むよう伝えた。

【外政】

○マシシ大統領、26日～28日にかけて欧州を外遊

26日～28日、マシシ大統領は、欧州（オーストリア及びベルギー）を外遊した。27日、マシシ大統領は、カール・メーハマー・オーストリア首相と会談し、キンバリープロセス事務局誘致につき協議した。

○マシシ大統領、第7回SACU首脳会合に出席

30日、マシシ大統領は、ハボロネ市にて開催された第7回南部アフリカ関税同盟（SACU）首脳会合に出席した。同会合閉会式にて、マシシ大統領は、閣僚レベルにて2022年～27年を対象としたSACU戦略計画の策定に取り組んでおり、同計画は域内バリューチェーンの確立等を通じた産業化の発展、投資及びアフリカ大陸自由貿易協定の実施を重点としている旨述べた。また、本年7月15日から2023年7月14日はエスワティニが本議長。

【経済】

○2021/2022 年第4四半期情報通信及び交通インフラ統計

2021/2022 年第 4 四半期の固定電話回線契約数は、同年前期比で 2.9%減少し 132,457 件、携帯電話の契約数が 3.4%増加の 4,160,553 件、インターネット契約者が 3.4%増加の 2,557,538 件となった。また、新規車両登録に関しては同年前期比で 4.1%減少し 10,063 台、そのうちの 80.5%が中古車、19.4%が新車となった。輸入元は、日本が 71.0%で、同車両の 99.4%が中古車であった。

○2021 年度収支決算は黒字見込み、ボツワナの今年度経済成長率は 4.3%と推定

ボツワナ財務省によれば、2021 年度の収支決算は、今年 2 月の予算演説では赤字を見込んだが、ダイヤモンド輸出に伴う歳入の大幅増加により、2016 年度以来の黒字に転じる可能性もある。また、IMF 第4条ミッションは、ダイヤモンド価格と需要の上昇、国際観光客増加などを背景に、コロナからの経済回復は 2022 年まで続き、2022/2023 年度の成長率は 4.3%と推定した。

○5月の年間消費者物価指数上昇率は 11.9%—2009 年 1 月以来の高水準

ボツワナにおける5月の年間消費者物価上昇率は、前月から 2.3%増の 11.9%となり 2009 年1月以来の最大の伸び率となった。同月の消費者物価の上昇は、運輸が突出しており、住宅・水道・電気・ガス・その他燃料、食品・非アルコール飲料、及び雑多な財・サービスも全般的に上昇している。

○ボツワナ銀行によるデジタル通貨の導入

ボツワナ銀行はデジタル通貨(Digital Pula)導入の検討を開始した。そのため、同銀行は、デジタル通貨が与える物価への影響、金融的な安定性や金融政策や金融セクター全般への影響について検証を行うとしている。また、同銀行では、2024年1月に小切手による決済を中止するとしている。

○オカバンゴ川橋の開通式

24日、モヘンボ東西地区に架かるオカバンゴ川橋開通式において、モラレ運輸公共事業大臣は、これまでのフェリー輸送に代わり、同橋は同地区住民のアクセス改善のみならず、オカバンゴ全体の観光産業にも大きな影響があると述べた。また同大臣は本橋とカズングラ橋の2つの橋の開通により、他国からの観光客と投資増加を期待する旨述べた。